

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	128	学校名	仙台市立荒井小学校	校長名	我妻 美知子
------	-----	-----	-----------	-----	--------

- 1 取組のタイトル、テーマ
「みんなで取り組むSDGs！」



2 取組の紹介

本校学区は、かつて大農業地帯でしたが、近年急激に宅地化・商業地域化したという経緯があります。地域の歴史や現在の生活環境を踏まえながら、地球全体の環境問題にも理解を広げていこうと、各教科や総合的な学習の時間にSDGsの学習に取り組んでいます。

(1) ゴミの分別

各学級や特別教室には、「燃えるごみ」と「プラスチックごみ」古紙をリサイクルするために、「リサイクルステーション」を設置し、紙類を分けて集めて、リサイクルを積極的に行う取り組みをしています。ゴミ倉庫では、ビニール袋からゴミを出して捨てており、リユースの意識を育てています。



(2) 社会科

地域の特色を生かし、3年生の社会では「農家の仕事」を選択しています。毎年JA仙台さんのご協力を頂きながら大豆作りに取り組んでいます。

4年生では社会の学習で下水処理場や清掃工場について学習しました。実際の校外学習で学んだことを新聞にまとめ、「自分でできるSDGs」について考えることができました。



(3) 総合的な学習の時間

4年生では総合的な学習の時間にSDGsの学習に取り組みました。「仙台環境学習講座」から花王さんとローソンさんを外部講師としてお招きし授業をしていただきました。身近な日用品を選ぶ・使うことがSDGsに結びつくということを教えていただきました。



(4) 児童会行事

荒井小の児童会祭り「にじいろ祭り」では出店の条件に「ゴミを出さない工夫」を盛り込んでいます。準備・片付けの効率まで考えて計画することもSDGsの一環につながることに気付かせていきます。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

- 毎日のゴミ捨てや児童会のお祭りが、低学年からの継続した環境意識を育てる場となり、分別の習慣や省資源の意識を誰もが無理なく身に付けることができました。
- 上学年になり各教科や総合でSDGsの知識を身に付けることで生活習慣を一層見直そうという雰囲気が高まっており、下学年のいい見本となっています。